

# 2024年度

## Waffle College テックキャリアコース

### インパクトレポート

#### 本レポートの概要

特定非営利活動法人Waffleは、2024年8月27日（火）～2025年1月18日（土）の約5ヶ月に渡り、テックキャリアを目指す女子およびノンバイナリーの大学生・大学院生向けプログラム「Waffle College テックキャリアコース」を開講しました。

昨年度までの取り組みに加え、本年度はより時代の変化やニーズに応じたプログラムを追求し、「プログラミング言語Pythonを使った授業の実施」「AIについて学べる授業を追加」などの対応をおこなった結果、以下のような成果を達成しました。

受講者数	IT関連企業での インターンシップ・内定を獲得	リーダーシップ発揮意欲を 向上させた学生の割合
<b>35名</b> (うち、30名が修了)	<b>11件</b> (2025年1月時点)	<b>40%</b> (修了した30名中12名)

その結果、参加者からは「社会に出てからも、何らかの形でテックキャリアコースで学んだことを活かせる仕事がしたい」「Waffle Collegeに入っていなかったらこんなに貴重な体験はできなかった」「いつも運営の方が優しく対応して下さっていて、すごく安心感があった」といった声があがりました。

## Waffle Collegeとは

Waffle Collegeは、2022年から開始したプログラムです。大学生・大学院生に対しIT未経験者からITエンジニアを目指すためのカリキュラムを提供しています。本プログラムは、「テックキャリア」「エンパワーメント」「リーダーシップ」の3つの軸を育てることを目指しています。1年間の活動を通じてITへの興味を醸成し、本格的なプログラミング・ブートキャンプを経験することで、インターンシップの獲得を目指します。

プログラムは、エントリーコース、テックキャリアコースの2つに分けて実施しています。エントリーコースでは、ITエンジニアへの第一歩として、プログラミング初心者に対して、プログラミングを学ぶ機会、キャリア思考を培う機会、一緒にプログラミングを学ぶ仲間に出会う場を提供しています。

テックキャリアコースへの参加にあたっては、応募者の意欲を確認する技術選考を実施しています。選考を突破した学生たちは、約5ヶ月間かけてIT技術を学び、修了後はエンジニアとしてのインターンシップ獲得を目指します。

本プログラムは、すべて無償にて実施しています。

## テックキャリアコースの開催概要

- 開催時期：
  - 2024年8月27日（火）～2025年1月18日（土）
    - 原則、授業は週に1度90分の実施（9月、12月のみ週2での実施）
- 場所：オンライン
  - 交流会（任意参加）・修了式のみ現地開催。遠方からの参加者には、交通費の一部を支給。
- 費用：無料
- 参加者：35名
- 参加対象：

- 国内外の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校などに在籍する、18歳以上の性自認が女性およびノンバイナリーの方（プログラムの性質上、社会人経験者の方は対象外）
- 学部・学科専攻などは不問（文系・未経験の方も大歓迎）

## テックキャリアコースのプログラム内容

短期間で「テックキャリア」「エンパワーメント」「リーダーシップ」の3つの軸を育成し、修了後には学生たちがエンジニアとしてインターンシップを獲得できることを目指すため、本コースでは以下の取り組みを実施しました。

### 5ヶ月間のタイムライン

8月	9月	10月	11月	12月	1月
入学式		交流会		企業訪問	修了式
プログラミング・コンピュータサイエンス授業					
		AI授業			
	PJ Week 1回目	PJ Week 2回目	PJ Week 3回目	卒業プロジェクト	
	ジェンダーリーダーシップ研修	キャリア講座		キャリアトーク	

### プログラミングの授業

昨年度までの授業では主にJavaScriptを使用していましたが、学生からの要望および、実業界からのAI開発・データ分析等のニーズに対応するため、今年度は主なプログラミング言語をPythonに変更しました。

約3ヶ月にわたり、**Project Based Learning 形式（※1）でログシステムを構築する授業**

**を実施しました。** 学生たちは、変数や文法といったプログラミングの基礎を学びながら、Flask（※2）を用いたブログシステムの開発に取り組み、理解を深めました。また、週に1度のオフィスアワーを設け、授業等の疑問を解消する機会を提供しました。

※1 Project-Based Learning（PBL）は、実際の課題や問題に取り組みながら学ぶ教育手法です。

※2 Flaskは、Pythonで動作するWebアプリケーションフレームワークです。

## コンピュータサイエンスの授業

コンピュータサイエンスの基礎から始め、実際のコーディング試験を視野に入れた授業を実施しました。これにより、受講生は実践的な知識を習得し、後述する「LeetCodeチャレンジ」においても、プログラミング思考を求められる課題に取り組むことができました。

## AIの授業

今年度、**新たにAIについて学ぶ授業を実施しました。** ChatGPTに適切なプロンプトを入力してより良い回答を得る方法を考える授業や、OpenAI APIを活用して結果を取得・表示する演習を行い、実践的にAIの使い方を学びました。

その成果として、後述の「卒業プロジェクト（卒業ハッカソン）」では、**7チーム中3チームがOpenAIを活用したWebアプリを開発する**など、AIを積極的に取り入れる姿勢が見られました。

## PJ Week

学生たちがコミュニティの仲間と交流し、リーダーシップを育む機会として、5人1組のチームで課題に取り組む「PJ Week」を3回実施しました。

1回目のPJ Weekでは、8日間でチームごとにHTML/CSSを用いて自由にWebサイトを制作し、公開・発表を行いました。

2回目のPJ Weekでは、16日間で各自がPythonの入門書を選び、読書感想文を作成。チーム内で感想を共有することで、学びを深めました。

3回目のPJ Weekでは、11日間でコーディング面接対策プラットフォーム「LeetCode」に挑戦。まずは3問、次に10問といった段階的な目標を設定し、個々のペースで取り組みまし

た。チームでの挑戦としたことで、解いた問題の共有や進捗状況の報告を通じ、互いに励まし合う姿も見られました。

### **卒業プロジェクト（卒業ハッカソン）**

テックキャリアコースの学びの集大成として、約1ヶ月をかけ、3～5人のチームでWebアプリを開発しました。最終的には、企業からお越しいただいた審査員の皆さまに向けて成果を発表しました。

7つのチームそれぞれが、以下のように特色あるWebアプリを制作しました。

- 添削機能付き英語日記記録アプリ「My Diary Buddy」
- カラーピッカーでファッションの色合わせを自由に考えられるアプリ「Out Fit」
- 押しグッズの交換ひろば「Ribbon×Ribbon」
- 地元の方のおすすめスポットをスタンプラリー形式で楽しんで回れるアプリ「じもこず」
- AIとディベートの練習をして自信をつけるアプリ「ディベートマスター」
- 謝罪文作成専用アプリ「ごめんなさい.com」
- ユーザーを笑顔にできるネタ帳のようなWebアプリ「ツッコミ道場」

なお、ハッカソンにおいては下記の企業・団体様に審査員としてご参加いただき、企業賞を授与いただきました。

- 株式会社日本総合研究所 様
- 株式会社NTTドコモ 様
- 株式会社 Progate 様
- 一般社団法人 42 Tokyo 様

### **ジェンダー・リーダーシップ研修**

ジェンダー研修やリーダーシップ研修を実施し、受講生のマインドセットの強化を図りました。これにより、学生たちは自分らしいリーダーシップの重要性や、コンフォートゾーンを飛び出す勇気の大切さを学ぶことができました。

## キャリア講座

学生たちのキャリア意識を高め、IT業界への理解を深めることを目的に、ロールモデルによるキャリアトークやキャリアワークショップ（履歴書の書き方講座・面接対策講座の2回開催）を実施しました。

キャリアトークでは、IT企業での就業への興味・関心を高めてもらうことを目的に、サイボウズ株式会社様や株式会社テクノプロテクノプロ・エンジニアリング社様で活躍されている女性技術者の方々にご講演いただきました。大学時代の就職活動の経験やITとの出会い、現在の仕事についてお話しいただき、受講生にとって非常に有意義な時間となりました。

また、キンドリルジャパン株式会社様によるキャリアワークショップでは、採用人事の経験者から履歴書の書き方や面接の受け方の基本を学ぶ機会を提供。さらに、希望者には履歴書の添削や面接のロールプレイングを実施し、実践的な学びを得る場となりました。

## 企業訪問

IT分野に関心を持ってもらうための取り組みの一環として、株式会社リクルート様にご協力いただき、Office Tour（企業訪問）を行いました。オフィス見学やIT職の女性社員との交流会等を通じて、IT業界に対する学びを深めました。

## 交流会

Waffle Collegeは原則オンラインのプログラムですが、学生同士の横の繋がりを大切にしたいという思いから、毎回プログラムの一環としてオンサイトの交流イベントを開催しています。今回もコース中盤に、学生たちが集まる交流会を開催しました。

本交流会は、キンドリルジャパン株式会社様のサポートによって開催されました。オフィスを会場としてご提供いただいたほか、会社紹介や従業員のみなさまによるトークセッション、オフィス見学など、充実したコンテンツもご提供いただきました。当日は、それらに参加する中で、学生同士が積極的に交流をおこない、仲を深めていく様子が見られました。

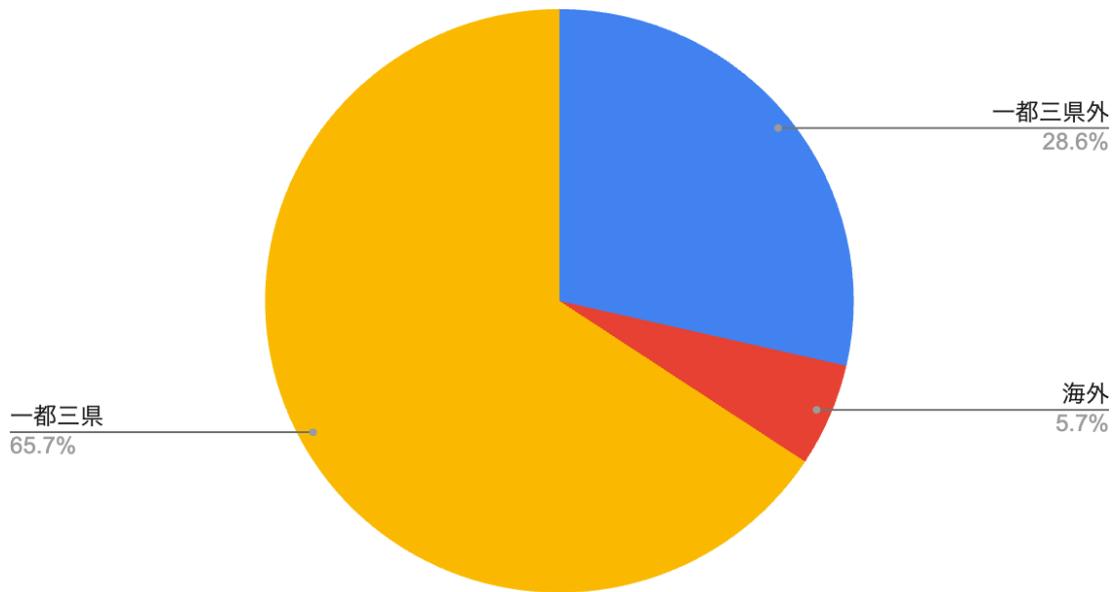
## 2024年度テックキャリアコースのインパクト

### 参加人数

35名がプログラムに参加しました。

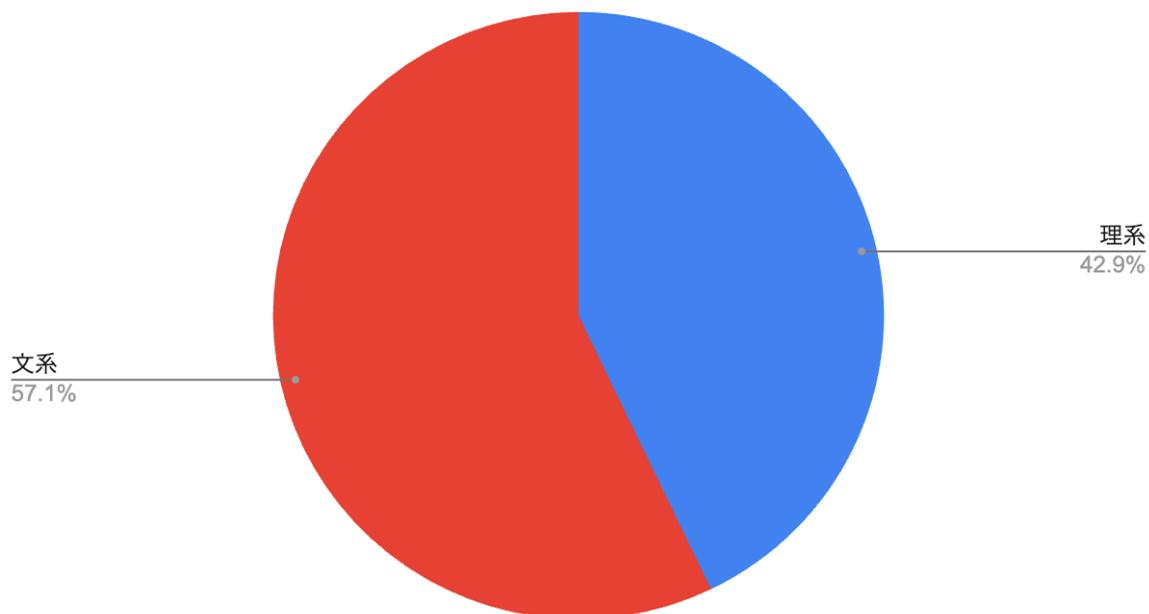
### 参加者について

#### テックキャリアコース参加者の所属大学（地域）



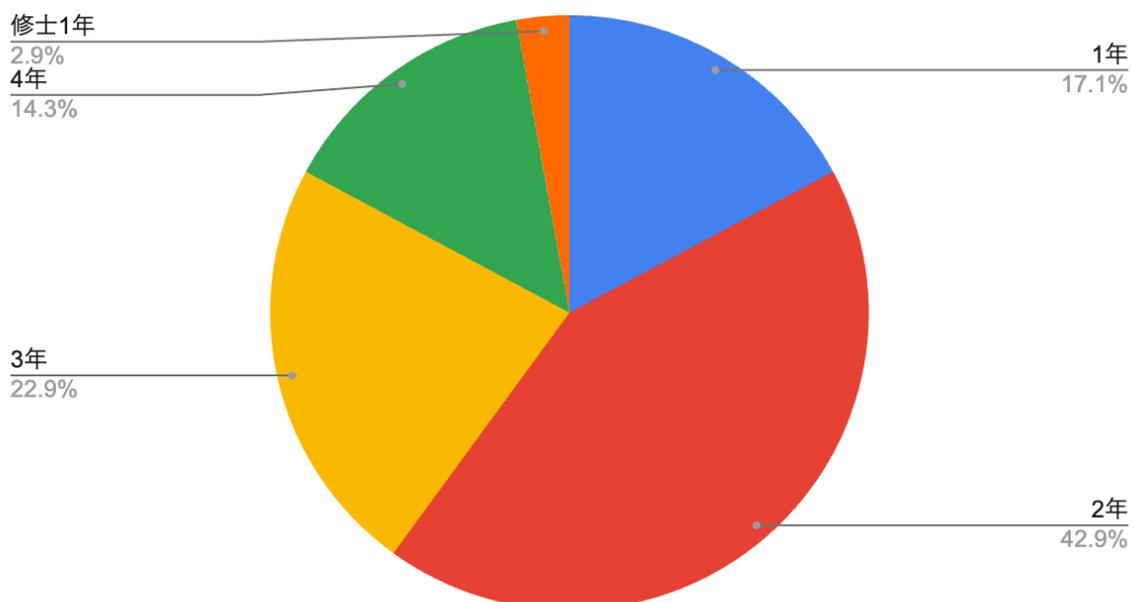
一都三県以外からの参加者は28.6%（宮城、愛知、富山、京都、大阪、奈良、福岡）。

## テックキャリアコース参加者の所属大学（学部）



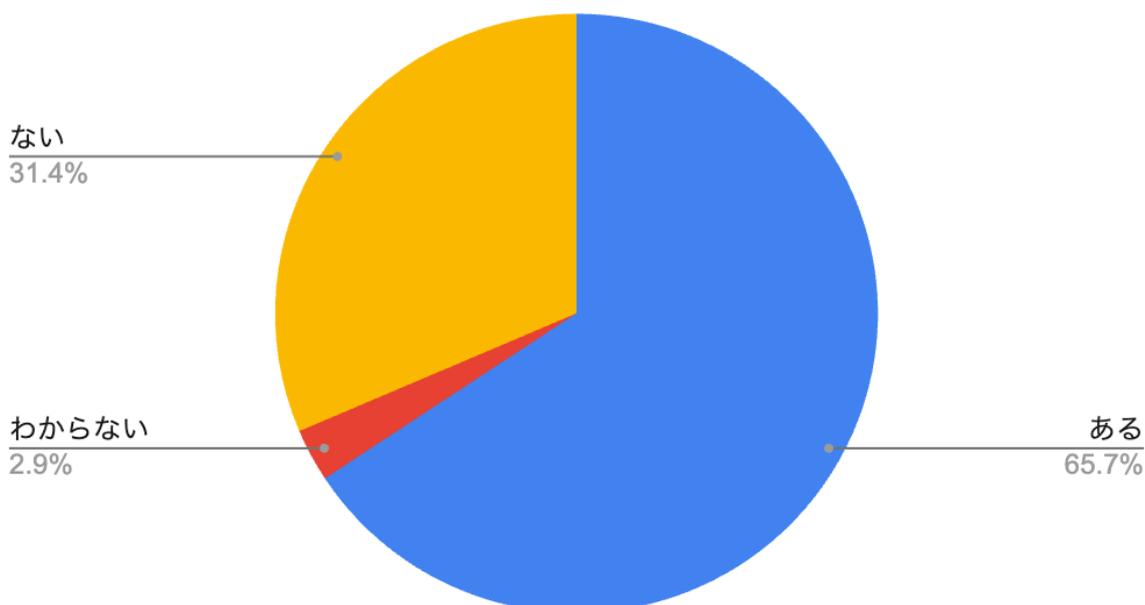
参加者の57.1%が文系学部からの参加者（学芸学部、経済学部、文学部、総合政策学部など）。

## テックキャリアコース参加者の学年



42.9%を2年生が占めているが、学部1年～修士1年まで幅広く参加。

## プログラミング経験



参加者の31.4%が、プログラミング経験がない状態で参加。また、60%がWaffle College エントリーコースに参加経験あり。

## プログラムの満足度

参加者のうち、プログラム終了後のアンケートに回答してくれた30名の回答によると、プログラムのNPS（※）は66.67でした。内訳として、推奨者20人、中立者10人、批判者0人と、66%の参加者がプログラムに満足し、友人や知人に強く勧めたいと考えていることがわかりました。

その要因として、「プログラミングの楽しさを知ることができた」「同じ志をもつ仲間と知り合えた」「自分なりに頑張れる環境が整っていた」などが挙げられています。

※ NPSとは、Net Promoter Scoreの略で、顧客ロイヤルティを数値化する指標のこと。推奨者（9-10ポイント）の割合－批判者（6ポイント以下）の割合で算出します。

## 参加者コメントによるワードクラウド



### 学習の成果

30人の修了者が、テックキャリアコース終了（2025年1月）時点ですでに合計11件のIT関連企業でのインターンシップ・内定を獲得しています。また、外部のハッカソンへの参加など、技術力を向上するための取り組みにも積極的に挑戦しています。

- **インターンシップ獲得：7件**（楽天グループ株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社NTTデータ信越、株式会社NTTデータMSE など ※順不同）
- **内定：4件**（キンドリルジャパン株式会社 など）
- **ハッカソン出場：Progateハッカソン powered by AWS（※）の優秀賞を受賞** など

※ 株式会社 Progateが主催するハッカソンイベント

## 参加者による卒業プロジェクトでの制作例（Webアプリ）



ごめんなさい.com

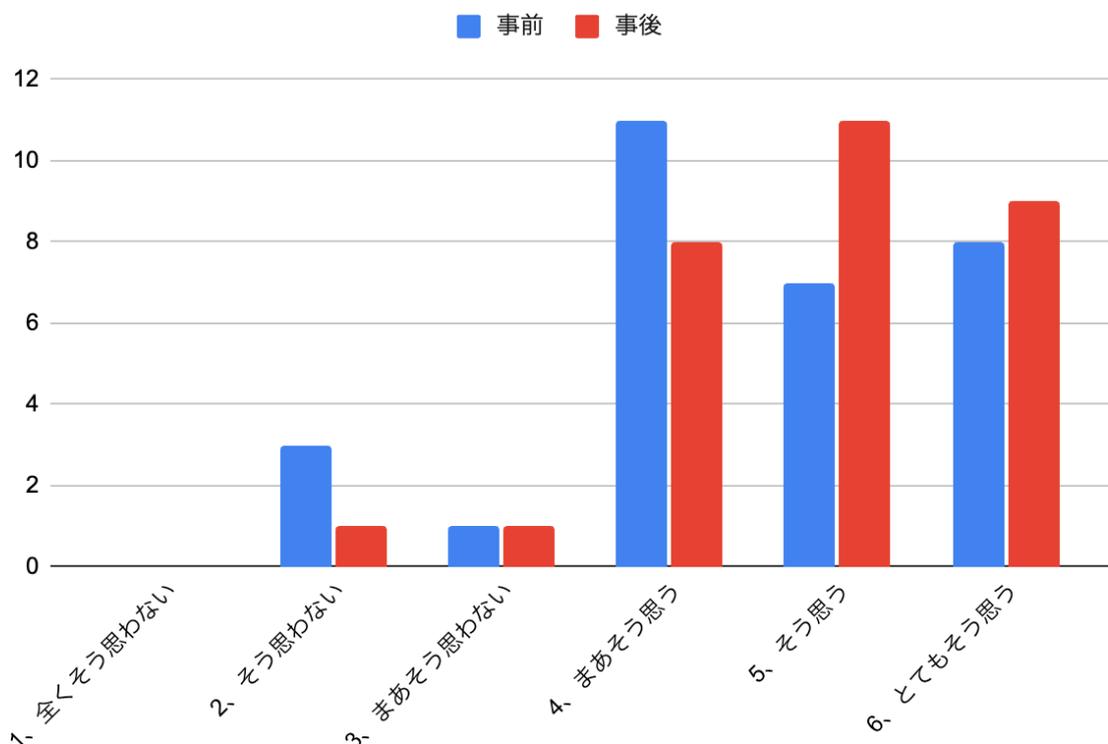


ツッコミ道場

## リーダーシップ発揮意欲の向上

テックキャリアコースでの学びを通じて、12名の参加者が「自分は様々な活動においてリーダーになる権利があると思うか」という質問に対する回答の数値を上げました。

自分は様々な活動においてリーダーになる権利があると思うか



また、プログラム終了後のアンケートでの「あなた自身は、リーダーシップを発揮できると思いますか。あなたの考えを書いてください。」という問いでは、

- できると思います！
- 陰ながら後押ししたり、全員の意見を聞くといったリーダーシップは発揮できると思います。
- できない。とずっと思っていたのですが、今回のグループ課題で、もしかしたらできるかも、やってみたいと思うようになりました。

といった回答が寄せられており、学生たちが伝統的なリーダー像にとらわれることなく、自分らしいリーダーシップを見出している様子や、テックキャリアコースでの学びを通じてリーダーシップへの自信を深めている様子がうかがえました。

## 参加者の声

- Waffle Collegeというコミュニティは一番自分らしさをだせる場所だと感じます。このようなコースを企画してくださり、本当にありがとうございました。
- Waffleのテックキャリアコースに参加する中で、私は自身のキャリアを見つめなおすことができ、現在では志望していたITインフラの会社から内定をいただくことができました。今後もWaffleで得た経験を生かして、自律したキャリアを形成していきたいと思います。
- 約半年間本当にありがとうございました！今後の私のテックキャリアにとってとても重要な経験ができた半年間だったなと思っています。これからも自己研鑽していきます！
- 約半年の間、本当にお世話になりました。Waffle College テックキャリアコースで貴重な経験ができたことや仲間に出会えたことを振り返り、心から参加して良かったと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- 約半年間、ありがとうございました！とても温かい雰囲気、プログラミングやキャリアについて学ぶ・深める機会をたくさん与えてくださったことを本当に感謝しています。どんなに初歩的なところでわからなくなっても、オフィスアワーでとことん向き合ってくくださった時間も忘れません。大学生という、社会に出る前の最後の限られた時間の中で、この組織と出会えたこと、ここで学べた経験が、自分の

これからの人生の糧になると思います。Waffle College テックキャリアコースに参加できて本当に良かったです！ありがとうございました。

## 協賛企業の皆さま

本プログラムの開催にあたって、以下の企業にご支援いただいています。Waffleスタッフ一同、心から御礼申し上げます。（敬称略、50音順）

### 協賛

- キンドリルジャパン株式会社
- Google.org
- 株式会社サイバーエージェント
- サイボウズ株式会社
- 株式会社セールスフォース・ジャパン
- テクノプロ・ホールディングス株式会社
- 株式会社日本総合研究所
- 株式会社リクルート

### 協力

- NTTグループ
- 一般社団法人 42 Tokyo
- 株式会社Progate

以上